

みなさんの声かけにより、地域の子どもを守っていきましょー！

ふなやま

第25号

下六人部地区福祉推進協議会

事務局長 竹中

六人部小学校六年生との交流事業について

今年コロナウイルス感染防止のため、六人部小学校六年生との交流事業をどのようにするかと検討した結果、例年行っていました「長い巻き寿司作り」は中止することになりました。そこで、六年生の皆さんと一緒に何かできることはないか？（何ができるのか）、密を避けて何か代わりの事業をしたいと考えた結果、「標語立て看板」を作ることといたしました。

六年生の児童の皆さんには「交通安全」「人権」「あいさつ」の三つのテーマより標語を考えてもらえるようお願いいたしました。一人で考えた標語もあれば数人で考えてくれた標語もあると聞いていますが、いずれもテーマに沿った素直な気持ちの言葉であるように思います。

以前（十年位前）に作りました標語立て看板は傷みが激しかったり、どこにあるか分からなくなったりと様々です。今回作り直した「標語立て看板」は自治会長様をお願いして標語に見合う場所に設置してもらおうようお願いいたしました。例えば「交通安全」ならば地域内に危ない交差点などがあればその近くに設置していただくなど、標語に応じた場所に置いていただけるようお願いいたしました。

今回、標語を考えていただいた六年生の児童の皆さんはもとより、六人部小学校、各自治会長様、赤い羽根共同募金助成金を支給してくださった福知山市社会福祉協議会、その他

お世話になりました皆様方には大変感謝しております。今後も地域の福祉について何が

きるか、何が必要か、できることを考えていかなければならないと思っています。

あいさつ

最高の あいさつしたら 笑顔咲く
だれにでも 礼儀正しく あいさつを
あいさつは 人の心を あたためる

人権

だれとでも 差別をせずに 協力を
優しさは 閉ざした心 開く魔法
やめようね 見て見ぬふりも いじめだよ

交通安全

「大丈夫」 事故につながる その油断
自転車は 安全運転 気をつけよ
左右見て 安全確認！ よし行こう

標語作りをとおして(感想)

「やめようね 見て見ぬふりも いじめだよ」
自分の経験から、この標語をつくりました。これを見て、見て見ぬふりをする人が減ってほしいです。

「左右見て 安全確認！ よし行こう」
事故のニュースを見て、人が亡くなっているのは気持ちのよいことではありません。ドライバーも歩行者も、安全に通行してほしいと思います。

「優しさは 閉ざした心 開く魔法」
自分の標語が看板になり、みんなに知ってもらえるようになって、うれしかったです。



「心の教育」実践活動「あいさつ運動」の活動について

「心の教育」実践活動 六人部ブロック実行委員会

実行委員長 大槻

「心の教育」実践活動 六人部ブロック実行委員会では毎月十一日を基準にあいさつ運動を地域の皆様のご協力をいただいで実施しています。

六人部小学校周辺を中心に各通学路や、バス停、六人部中学校などで子どもたちと「おはよう」、「おはようございます」「いってらっしゃい」と元気に挨拶を交わしています。下六人部小学校時代には帽子をとって、立ち止まって、大きな声で挨拶をすることが伝統としてあったと聞いています。校名が六人部小学校となった今でもこの伝統は受け継がれています。

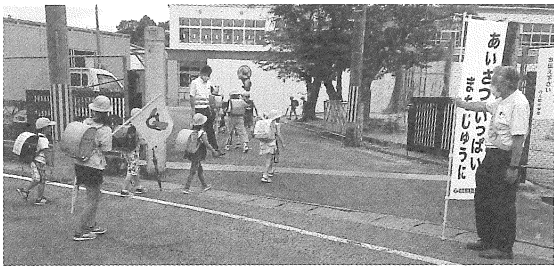
春には入学してまもない一年生が上級生に連れられて登校する初々しい姿、夏休みを終え、運動会などの行事を成功させてたくましく見える秋、寒さ厳しい冬でも元気に登校してくる子どもたちの姿を見守ることが出来ることに喜びを感じます。

「心の教育」実践活動 六人部ブロック実行委員会では「家族だんらの日」事業として啓発カレンダーの制作、地域住民と児童、園児、生徒が交流する世代間交流・花いっぱい運動、「心の

教育」実践発表会など、地域で次代を担う青少年の健全育成をテーマに活動しています。その中のひとつである「あいさつ運動」は、子どもたちが地域の人々から見守られ包み込まれていると感じる地域一体となった運動となることを目的としています。

地域の宝である子どもたち一人ひとりが幸せを感じながらすくすくと成長してほしいものです。

今後「おはよう」「おかえり」など子どもたちにお声かけいただき、地域一体となつて「地域で子どもを守り育てる」という連帯感を高め、安心・安全な地域づくりのためにご協力いただきますようお願い申し上げます。



お一人暮らしの高齢者見守り支援事業に参加させていただいて

人権ふれあいセンター下六人部会館

館長 芦田

例年になく寒かった今年の冬も春になり暖かくなってきました。皆様におかれましてはお元気で過ごされていることとお喜び申し上げます。

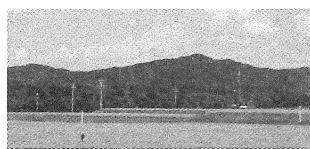
さて、下六人部地区福祉推進協議会では、「お一人暮らしの高齢者見守りクリスマスプレゼント」事業を昨年十二月十三日(日)に実施しました。

家から外へ出ることも少なくなり孤独になりがちな一人暮らし高齢者の孤立を防ぐ見守り訪問は、例年の手作りお弁当を配布し行われていましたが、今年度はコロナ禍の中で手作り弁当を避け、それでも人とのつながりやふれあいを絶やさず出来ることをやっていたこと、おにぎりやお菓子、会員手作りのなどがクリスマスプレゼントとして包まれました。そして、配食希望の六十五歳以上の一人暮らし高齢者を対象に新型コロナウイルス感染予防対策を講じてプレゼント配布と安否確認などをしながら、各自治会長さんと民生児童委員さんが八十五人のお宅へお届けしました。プレゼントを受けられた高齢者の方からは感謝のお言葉をたくさんいただき、コロナ禍の中でもこの

事業をすることが出来て本当に良かったと思えました。
食生活改善推進員、いずみ会、民生児童委員、自治会長、推進協などの皆様のご協力により、新型コロナウイルス禍の中でも、この大切な事業を無事に終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

編集後記

誰にとっても幸せな地域づくりのためには、人と人との出会い、つながりやふれあいといったことがとても大切になってきます。福祉推進協議会では引き続き、地域の絆を深める様々な事業に取り組んでまいります。後になりましたが、原稿の執筆をお世話になりました皆様方には、お忙しいところ快く引き受けていただき感謝申し上げます。



岩間からの「ふなやま」の遠望です。

- ◆委員
- 芦田、足立
- 今福、武田
- 武田、竹中
- 西山、松下

